





角田郁雄氏が自宅リスニングルームで導入した、NCF Booster-Signal 使いこなしの新しいアイデアを紹介

## NCF Booster-Signal を使って気に入り、そして考えた

### ■私が NCF Booster-Signal を評価するポイントと魅力 (Text by 角田郁雄)

読者の皆さんは、きっとフルテックの NCF Booster-Signal に関心を持たれているか、あるいはもうすでに購入し、愛用されている I am sure a lot of readers are interested in the Furutech NCF Booster-Signal, if you don't own one already. Myself, I am very excited about this new product. With much experience in studio component setting and A/D & D/A demonstrations, I understand about positioning and management of cables for better sound. なぜなのか、少し説明しよう。 および D/A コンバーターをデモンストレーション、ホコリがなく綺麗に配線したスタジオは、これはおそらく、電源／デジタル／ラインケーブルなどを、干渉させることなく配線し、常に清掃することで、静電気を発生させる綿ボコリなどが、まったく無い状態であるからだ、と判断できた。また使用機器を変えた場合でも、即、簡単に配線ルートを変えることも可能になる。



角田氏が自宅リスニングルームのオーディオシステム用に自作したケーブル・ラックと NCF Booster

そこで私は、自宅 1 階のリスニングルームでも実践し、テーブル・ラックの後ろ側に、自分で設計したケヤキ製の「ケーブル・ラック」を作った。デジタル、上段にラインケーブルを設置、プリアンプからパワーアンプ間や、スピーカー間にも設置した。 The introduction of the NCF Booster-Signal to my listening room was a revelation. They are easy to move, easy to set, height adjustable, eliminate static and resonance. And improve sound! そこに登場したのが、フルテックの「NCF Booster-Signal」であった。必要な場所に、簡単に移動でき、高さ調整も可能。静電気と不要振動も低減でき、お気に入りのケーブルを綺麗に保つことも可能だ。



電源コネクターをフルテックの NCF Booster-Signal で支持した(写真左奥)、コードの DA コンバーター、DAVE

私は早速、数セットを購入し、まず、アナログプレーヤーの DIN 仕様トーンアームケーブルに使用し、フォノイコライザーまで、空中配線させた。次に、コードの CD トラスト/デジタル・オプティマイザー「Blu Mk2」と、DAC「DAVE」の電源コネクターをフルテックの NCF Booster-Signal で支持した(写真左奥)、コードの DA コンバーター、DAVE の電源コネクターをフルテックの NCF Booster-Signal で支持した(写真左奥)、コードの DA コンバーター、DAVE

I have them set on my Tonearm cable, CD Player power cord and DAC power cord. In all positions the effect was greater than I had anticipated – more resolution and transparency

トーンアームケーブル領域の透明度も高まった。

後者では、機器そのものが軽量で、重さのある電源プラグを使用するとプラクが下がり気味になる。すなわち、ブレイドの接触が安定しないのだ。これを NCF Booster-Signal で支えると安定し、タイトな接触になるので、ほぼ前者と同じ効果が得られ、解像度も向上した状態となり、音像の輪郭が明瞭となる。



フルテックの NCF Booster シリーズを自宅リスニングルームの各所へ導入することで、他の方法では得難いクオリティアップが実現 (角田氏による「NCF Booster-Signal」の導入レポート記事は[こちらを参照](#))

### ■NCF Booster-Signal で、Corus/PSU を重ねつつも浮かせて設置

フルテックの NCF Booster-Signal をそうこう活用しているうちに、ちょっとしたアイデアが湧いた。愛用しているプリアンプ、ジェフロウランドの「Corus」と、その電源筐体の「PSU」の設置のことだ。



ジェフ・ロウランドのプリアンプ「Corus/PSU」(3,330,000 円、税別)。精密切削加工で削り出したアルミ・ヘアラインのシャーシの美しさも、本機の魅了されるポイント。サイズは、本体(上)が 394W×94H×311Dmm(ノブ含む)で、電源部(下)が 394W×98H×279Dmm。質量は、本体が 10kg で、電源部が 15.9kg

この機器は、「電源部の上にプリアンプ本体を置かないように、離して使うように」と、取り扱い説明書に記載されている。ノイズが出ることもあるからだ。私は、“そんなこと言ったって、重ねた方が格好良い”と思い、重ね置きをしていた。しかし、しばらくして“そうか、プリアンプ部を NCF Booster-Signal で、浮かしてやろう”と考えた。そして、“リアの入出力コネクタも支えてみよう”とチャレンジした。



プリアンプ部を、フルテックの NCF Booster-Signal で電源部から浮かせた Corus/PSU。本体左右に加えて、背面の入出力ケーブル端子部で右奥と左奥をしっかり支えることで、より安定した支持を得ている

結果の姿は、写真のリアにもコネクタのケーブルを 2 本追加し、ク

Here we use two NCF Booster-Signal on either side of the Jeff Rowland Preamp and two NCF Booster-Signals with additional Cradles at the rear to support the cables

基使用し、さらに、テンションシャフトバ格好良いと勝手に

思っている。



今回使用した NCF Booster-Signal の配置状態。背面(リア)の左右に配置した NCF Booster-Signal は、シャフトバーは 3 段とし、クレイドルフラット部は 2 個使用(オプション追加)。入力ケーブルの XLR 端子(上側)と出力ケーブルの XLR 端子(下側)をそれぞれしっかりと支持  
**安全対策としての配慮も大切**

## ■インシュレーターを隠して設置した

しかし、NCF Booster-Signal による、このプリアンプの支えは、正直なところ重量に問題があるし、本来の使用外だ。自己責任で行ったことだ。突然下がってくるかもしれないし、地震の問題もある。

側面の左右に各 2 基ずつを使えば、問題ないかもしれないが、それではメカメカしく、格好悪い。そこで、思いついたことは、電源部の上に、樹脂製のインシュレーターを隠して設置することであった。これならば、もし 3mm ほど下がってきたとしても、また万が一に転倒しても、このインシュレーターが、プリアンプを支えることができるのだ。



側面(サイド)の左右に配置した NCF Booster-Signal は、シャフトバーは 2 段使用で、キャップの上端とクレイドルフラットの高さを合わせてある(製品の付属セットのみで構成)

## このセッティングで得られた成果

### ■明らかな音の向上を実感できた

さて、その結果であるが、ジェフロウランドの取り扱い説明書のとおり設置できたし、ノイズの心配もなくなった。一番、気にしていた、XLR キャンコネクターのぐらつきも皆無となり、音の鮮度は明らかに高まった。より一層、空間と奏者

Result?

I notice an immediate increase in resolution and an increase in spatial imagery with contrast in the separation of instruments

電源プラグの一部、不安だ。触れば、グラグラする。読者も経験されていることであろう。しかしながら、これを固定すると、ブレイドやピンの接触が安定する。その効果は、大きいと実感する。しかも、静電気を除去できる NCF Booster-Signal の効果は、実に大きいと言えるであろう。

また、せっかく購入した電源ケーブルやラインケーブルを大切にしようという、気持ちにもなる。ケーブルは、音を結ぶ大切な幹線だ。本アイテムを使用し、さらに半年に一度くらいは、埃を払い、接点クリーニングもしてみよう。オーディオが、もっと楽しくなることであろう。



各 NCF Booster-Signal は、クレイドルフラット部の調節ネジをしっかりと締めつけているのはもちろんのこと、万一ずり下がった場合にも事故が起きないように、樹脂製のインシュレーターを電源部の上に置く安全策も行っている(上の本体側とは触れないように約 3mm の隙間を確保)

### 活躍の場を広げる NCF Booster シリーズ

#### ■NCF Booster-Signal の可能性と楽しみ (編集部)

使いすぎると副作用が出がちなアクセサリーの定説を覆し、“いくつ増やしてもまだ欲しくなる”との評判も広がる NCF Booster-Signal。姉妹品  
た例をこれまでレポートしている  
使い方の工夫で「いままでは出  
イングツールとして活用した注目

Easy to use, no unwanted effects. You can keep adding them and still want more. These products are a new category of accessory that can take your system to the next level. And we are sure users will find new and interesting ways to get great results with the NCF Booster-Signal.

ろなケーブル周りの場所に使っ  
えよう。ここで紹介の方法は、  
びきりになる、斬新なセッテ  
任となる。くれぐれも事故のな  
なく、リアの入出力ケーブル端  
いる。加えて、万が一外れた場合  
でも機材が落下しないよう、機材の間に“保険用”としてのインシュレーターも挟んでいる。特に重量のある機材、外れて落下しやすい機器や環境下では用いないなどの配慮も心掛けて、NCF Booster シリーズでますます広がるクオリティアップの世界を、ひと工夫しながら楽しんでほしい。